

# SHIN CLUB 229

(株)辰 東京都渋谷区渋谷3-8-10 JS渋谷ビル5F

tel/03-3486-1570 fax/03-3486-1450



今月のトーク/monthly talk

高山商店 撮影：アック東京

## 地域で愛される建物に

写真は、練馬にある食品関連の会社「高山商店」様の工場と事務所ビルです。関東ローム層という地質に恵まれ、大根の産地として有名な練馬は、昔から沢庵農家が多く、「高山商店」も、昭和10年、農家から現社長のおじい様の時代に漬物業を始められ、先代の高山恵一郎氏の時代から、いわゆる「ガリ」と呼ばれる生姜の甘酢漬けの販売を始められました。

先代の社長がこのデザイン性ある建物を建てられた31年前、漬物の会社は点在しておりましたが、周囲にはまだ畑も多く、かなり斬新なものであったようです。しかし、先代社長は、宅地開発がさらに進むと考え、違和感のないようにデザイン性のある打ち放しコンクリートの建物を建てられ、工場部分も地下に収めて周辺への影響を最低限にしました。この地で息子様高山幸治様や次世代の方々長くご商売を続けていけるように、と配慮されたのです。

それから月日が流れ、30年を過ぎて、コンクリートの外壁はだいぶ傷みが見られるようになりました。父上の恵一郎様が一昨年病に倒れられ、昨年春に他界される直前に現社長の幸治氏に「建物をきれいにした方がいい」という気持ちを伝えられ、社長は、「新築同様にきれいにする」と誓われたのでした。

黒ずんだコンクリートの建物の前に立った現場担当者は、「一周忌に何としても間に合わせたい」という社長の期待にお応えしなくてはと、コンクリートの化粧補修を行う専門業者に社長の思いを伝えました。現場では一体感が生まれ、この3月、きれいに建物は生まれ変わりました。先代社長は、ご自分の目で見ることができませんでしたが、社長は、その遺志に報いることができた大変満足いただけたようです。

長年その地で暮らし、ご商売をなさってきた親御様が亡くなられたとき、その土地や建物をどうやって引き継いでいくべきか、多くの方が今、その悩みに向き合っておられることでしょう。

単に相続税の問題だけではなく、特にお仕事にも関わりがあれば、事業継承という問題もあるでしょう。

そんな時に、地域で暮らしていくことに「先見の明」を持って、地域に開かれた、その場所にある必然性を持った意味のある建物を次世代に引き渡していければどんなに素晴らしい事でしょう。

今回は、そのような場面を見せていただき、建物が再び美しく生まれ変わる瞬間に立ち会えたことを光栄だと感じた次第です。



改修前の、「高山商店」  
北側全景写真



# 高山商店（外壁改修）



北側全景。前面道路に面して広い歩道が用意され、コンクリートの柱で囲われた小さな庭がやわらかな雰囲気を建物に与えている

## 築30年のコンクリート造の建物を、新築同様に改修

築 31 年のコンクリート打ち放しの建物の外壁改修工事である。デザイン性が高い建物で、竣工当時は、打ち放しのコンクリートの魅力をたたえた、周辺でも珍しい美しい建物だっただろう。しかし、30 年が過ぎ、経年劣化の影響を受けてかなりの傷みが見られた。黒ずみや、コンクリートのひび割れ、錆びた内部の鉄筋が露出して、ほとんどコンクリートが落ちている箇所もあった。特に東側の地下へのスロープに面した建物の上部は、もと焼却炉があったためか傷みがひどかった。まず、鉄筋の錆止めや下地の処理を行い、基本的な補強を行った後、今回のオーナーの希望である「新築同様に美しくなるよう補修してほしい」というご希望を満たさなくてはならない。そこで 2 年前関東に進出してきたという関西のコンクリート専門修復会社に、化粧補修で参加してもらった。亡くなられた先代への社長の思いや辰への信頼を、現場の職方にも十分理解してもらい、その技術力だけでなくコミュニケーション能力を発揮してもらった。オーナーにも職人さんの意識の高さを評価していただき、ほっとしている。（営業担当：小関）



建物北西側全景。工場・事務所入口。角を R に落とし、趣のあるアプローチ



建物西側全景。シャッターのあるところが、トラックを横付けできる配送のスペース

構造：RC造  
規模：地下1階、地上3階  
用途：工場・事務所  
竣工：1993年  
改修施工担当：小関  
外壁改修完了：2019年3月  
撮影：アック東京



建物南側全景。裏側は住宅街。右側にスーパーの建物が隣接



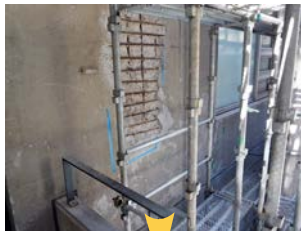
1階事務所エントランス。円形のスペースに天窗から明るい光が注ぐ。工場への入口は右手階段を下りる



東側スロープ。地下の工場への運搬作業はこちらから



東側 2 階。爆裂箇所へ下地処理を行ってクレン等を行い、不陸補正を施した後、TC工法で補修



同じく東側。鉄筋の露出が見られ、下地処理、左官屋さんによる整形を済ませて、TC工法で化粧補修



東側。鉄筋が露出し、コンクリートの落屑がひどかった箇所も見事修復、TCコートで美しく仕上がる

### 化粧補修施工担当者に聞く

コンクリートの修復には、大きく分けてセメント系と塗装系の 2 種類があります。セメント系は再生系で部分補修はもちろん、撈水材を選ばない、すべてのコンクリートに対応します。一方、今回行った、「テック工法 (TC 工法)」という塗装系の方は、撈水材との一貫施工です。スピードがあり、工期短縮に貢献し、統一感を持った美観を提供します。

弊社は、現場でのニーズを活かしながら、新たな塗料を開発しており、今回使用した「TC コート」は水性アクリルシリコン系のコンクリート保護剤ですが、優れた防水性で長期にわたる耐久性を維持します。今後も、辰さんに協力して過去の作品の修復のお役に立ちたいと存じます。

(前進テック株式会社 森本圭哉 営業部長)



美味しく、安全、安心していただける食品を

高山幸治／株式会社高山商店代表取締役



事務所内の物販コーナー。お土産など、一般向けの生姜のパッケージ商品を販売している



# Koji Takayama

高山幸治氏。練馬区の工場事務所にて

一練馬のこの地域で工場を建てるというのは、当時は珍しかったのではないですか。

高山：この地域の産業が、農家、沢庵を漬ける漬物業者、それから食品加工業というレベルになってきた背景には、やはり練馬の開発、宅地化が進んだことが大きいですね。31年前、昭和63年に竣工した建物は、かなり斬新なデザインでした。当時は農家がまだ多く、食品加工工場も点在してはいましたが、おやじが「そのうち住宅が増えて、ここでは工場は肩身の狭い存在になるだろう。公害のもとになってはならないし、周囲の美観を損ねる建物にもなってはならない」と思い切って、デザイン性のある建物をつくったのです。

一工場と言っても、化学薬品などと違って食品工場はまだ身近な感じもしますが・・・

高山：いえいえ、やはり製造工場は多くの人が入り出したり、車の出入りもあり、また騒音、においなどの問題もあります。この建物の一番の特徴は工場を地下に埋めてしまったこと。だから廻りから遮断されて、侵入者を防ぎ、害虫を防ぐ一方、音や振動、においも近隣には伝わりません。機能として30年前は画期的であったし、今でも通用する建物だと思います。

一先見の明がおりだった、ということですね。

高山：おやじもでしたが、設計者、施工会社さん、関わってくれた皆さんに先見の明があったのではないかと思います。

一工場だけでなく、事務所で商品も販売もされているんですね。

高山：そうです。この地域で商売をしていく上で、近隣の方々に、ここにあるものを知っていただくことが大事です。もともと業務用の商品を製造するところ、お客様は外食産業の会社、問屋さんなどの業者さんだけでした。一部工場直売で近所の方に売ってききましたが、製品は業務用が主でした。しかし、この建物の中で何が作られているかをもっと理解していただきたいという気持ちで、2年ほど前から小売り事業も開始し、事務所に物販のスペースを作ることにしました。最近この地域に越されてきた方や前を通りがかった方、何の建物なのかかわからないという方々にも立ち寄りてもらい、一つ300円の商品でも買っていただけるようにしました。いかに近隣で知名度をあげるのかも大事です。

余談になってしまいますが、今回の改修工事を決意したのは、おやじが他界して間もなくでした。

2017年の6月に脳梗塞で倒られた父上が、母上と同じ病院で療養後、2018年正月に自宅に戻られ、建物の改修を望まれたということです。「自分が厄年の時に建てた建物は、厄落としての意味があった」という父上に、それならば、厄年を迎える自分は、「その改修を行うことで男の厄落としをする」と社長は誓いました。2週間後、再び脳出血で倒られた父上は、その2週間後他界されました。

高山：おやじとそんな約束したものですから、何社か見積もりしたのですが納得のいく工事はやっぱり辰さんに頼みたいと声をかけさせてもらいました。今回の注文は一言だけ、「新築に戻してください」ということ。傷んだ外壁を元に戻してほしい、と。

一方、足場を建てて囲いをしたら、近所の人に思いもかけない噂が立ったんです。「壊しちゃうんじゃないか。せがれは親の仕事を継がないでやめちゃうんじゃないか」と。それを聞いて「幕が外れたところで、きれいになった建物をみてもらおうじゃないか」と益々やる気になりましたね。おやじの一周忌に何が何でも間に合わせてもらいたい、と思ったんですよ。今回は辰さんのイメージが変わりました。新築施工だけでなく、今後は外壁改修にも力を入れるという辰さんの姿勢と私の思いがぴったりあったんですね。職人さんも誇りを持っている人ばかり。我々のような30年に一度の改修のお客も、大事にさせていただきたいですね。

一日本食ブームで、より市場が広がっていることでしょうか。

高山：生姜は、今までは付け合わせの存在でしたが、大変重要な野菜です。漢方薬でもあるし、持っている力を最大限に引き出し、美味しい商品をごんどん世に出すことが社会貢献だと思います。世界中から見つけてきた生姜を、日本人の力で安心、安全な商品に加工して食べていただく。我々が築いてきたものをどこまで伸ばしていけるか、挑戦ですね。

一日本日はありがとうございました。



写真上：姉上（右）と奥様（左）も事務所で一緒にお仕事に携わる。息子さんも加わり記念撮影



10年前、ご自宅の木造の既存住宅にRC造の増築工事を辰で行う



ご自宅RC造1階部分の室内車庫におさまる愛車シトロエンと

## 高山商店のあゆみ

- 1935年（昭和10年）練馬区高松で漬物業開業
- 1954年（昭和29年）(株)高山商店設立
- 1961年（昭和36年）練馬区旭町に原料工場完成
- 1968年（昭和43年）練馬区貴井に倉庫完成 不動産賃貸部門開設
- 1977年（昭和52年）海外原料の仕入れを開始
- 1985-86（昭和60-61年）台湾・中国・タイ等の海外産地を開発
- 1988年（昭和63年）本工場を新築、最新技術を導入、大量生産開始
- 1994年（平成6年）資本金を1,000万円に増資

所在地：〒179-0075 東京都練馬区高松3-21-15 TEL:03-3990-1261  
事業内容：生姜漬物の加工・生姜関連商品の販売。漬物製造卸・各種製品輸入販売、※各種特注品のご相談も承っている。



「建築現場見学会 & 女性若手技術者勉強会」

2019年2月27日 主催：一般社団法人東京建設業協会

建築家の設計する2か所の現場を見学しながら、第一線で仕事をする女性現場技術者から、様々な話を直接聞ける勉強会が開催されました。参加学生は、事前に申し込んだ女子学生10数名。午前には他社施工の著名建築家の共同住宅を見学。ランチタイムは原宿の有名レストランで会食をしながら、先輩女性現場管理技術者による発表が行われました。弊

社からも、堤、堀内2名の現場員が参加、学生さんたちの質問に答えていました。午後は弊社が施工中のRC造+S造のハイブリッド構造の個人住宅を訪れ、実際の現場をみていただきました。参加者は「非常に有意義な見学会だった」「会社による現場管理の違いを見られた」などの感想を述べられていました。



構造の説明をする現場所長の郷



墨出しの実演を行う柿壽



ランチミーティングで発表する堤



同じく堀内



現場で資料説明を行う社長岩本



記念撮影。お疲れ様でした。

「旭町診療所」が第25回千葉県建築文化賞を一般建築の部で受賞しました

2019年3月19日 表彰式 千葉県本庁舎

「千葉市都市文化賞 2015」を受賞した「旭町診療所」が県の建築文化賞でも受賞。表彰式に診療所院長の田邊恵子様、設計者の田邊曜様とともに施工者として弊社社長岩本も出席しました。L字型の敷地に配されたイエ型トンネル。その外殻のずれにより生まれた光あふれる空間が贅沢な診療所です。



旭町診療所



千葉のゆるキャラ「チーバくん」と記念撮影

「幼・老・食の堂」(けめともの家)が『新建築 2019年2月号』に掲載されました。



「幼・老・食の堂」(けめともの家 設計:teco)は多世代がともに過ごす多機能型福祉施設です。「ShinClub221号」でご紹介しました。

「(仮称) AK-4ビル 新築工事」 地鎮祭

2019年2月27日



10年前に施工させていただいた、AK-3ビルの隣の敷地で工事が始まりました。

構造：RC造  
規模：地下1階、地上3階  
用途：店舗・事務所・スタジオ  
設計・監理：勝岳史建築設計事務所  
プロデュース：ムロプランニング  
完成予定：2020年2月

「Mビルプロジェクト 新築工事」 地鎮祭

2019年2月27日



北青山の銀杏並木沿いに建築させていただきます。

構造：RC造  
規模：地上5階  
用途：店舗・事務所・共同住宅  
設計・監理：アール建築事務所・NISHIKEN architect design  
完成予定：2019年11月

「(仮称) 神宮前6丁目プロジェクト 新築工事」 上棟式

2019年3月5日



常連のお客様も完成を心待ちにしている、あぜみち様の建物を建築させていただきます。

構造：RC造  
規模：地上5階  
用途：物販店舗、飲食店、共同住宅  
設計・監理：山下真平建築設計事務所  
完成予定：2019年4月

「(仮称) 北青山三丁目計画新築工事」 地鎮祭

2019年3月7日



秋には、北青山にまた一棟、こだわりある建物が完成いたします。

構造：RC造  
規模：地上3階  
用途：物販店舗  
設計・監理：團紀彦建築設計事務所  
完成予定：2019年11月

編集後記

・お詫びと訂正：先月号のSHINCLUB228号p3でご紹介した「SHINKA」設計者の長谷川順持氏のプロフィール中、生年月日と出身地が誤っていました。正しくは、「1962年、神奈川県生まれ」です。お詫びして訂正させていただきます。  
(株)辰通信 Vol.229 発行日 2019年4月10日 編集人：松村典子 発行人：岩本健寿  
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-8-10 TEL:03-3486-1570 FAX:03-3486-1450  
E-mail : daihyo@esna.co.jp URL : http://www.esna.co.jp

「SHIN CLUB」はWEB上でもご覧いただけます。バックナンバーも掲載しています。  
http://www.esna.co.jp/shinclub  
スマホはこちらから →

